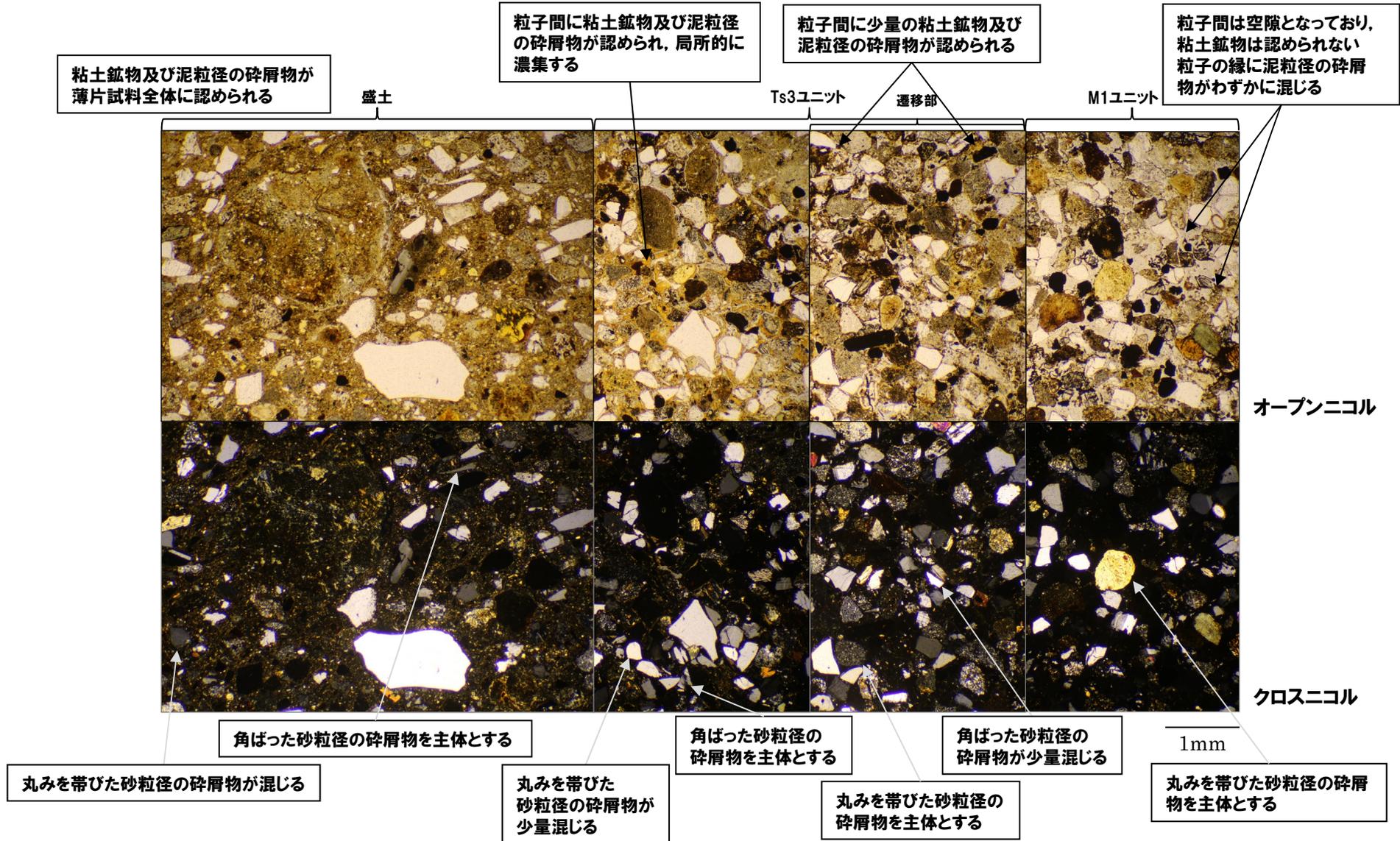


2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-まとめ(3/3)-



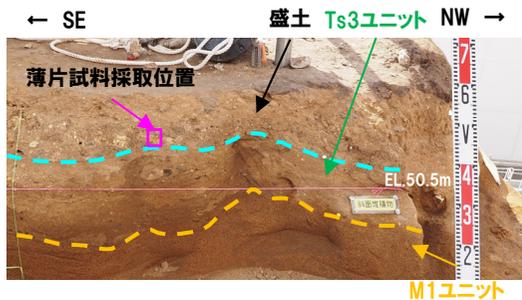
各堆積物及び盛土の特徴の一例 (SKB-TW-1-1~4)

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-1-1(1/2)-

【SKB-TW-1-1(盛土)】

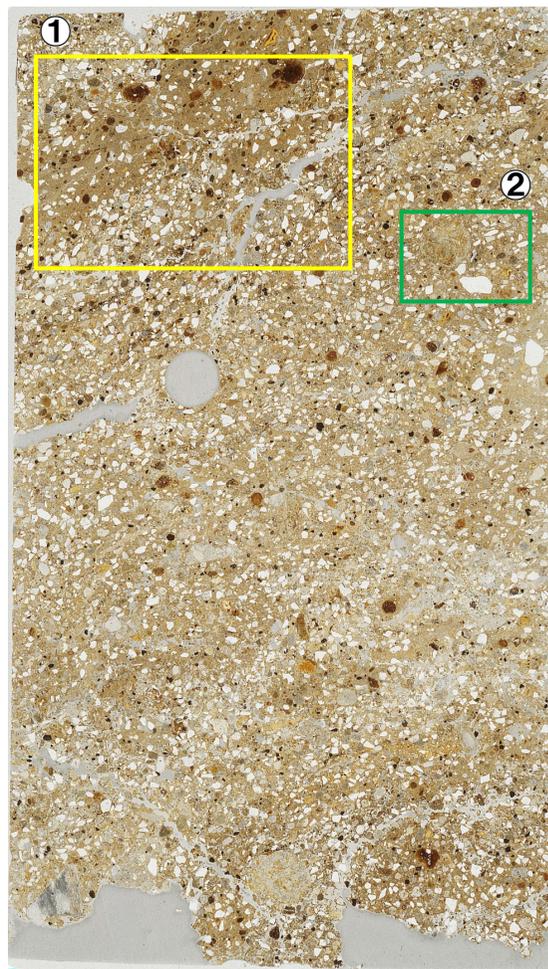
- 黄褐色を呈する粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が卓越して多い箇所が認められ、内部及び周辺の砂粒径の碎屑物は定向配列している(拡大写真①)ことから、盛土敷均しの影響を受けているものと考えられる。
- A部及びその周辺部(拡大写真②)のように、砂粒径の碎屑物の量及び粒径の異なる箇所が認められ、粒子の形状及び粒径等が変化に富み、不均質な性状を示す。



側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置

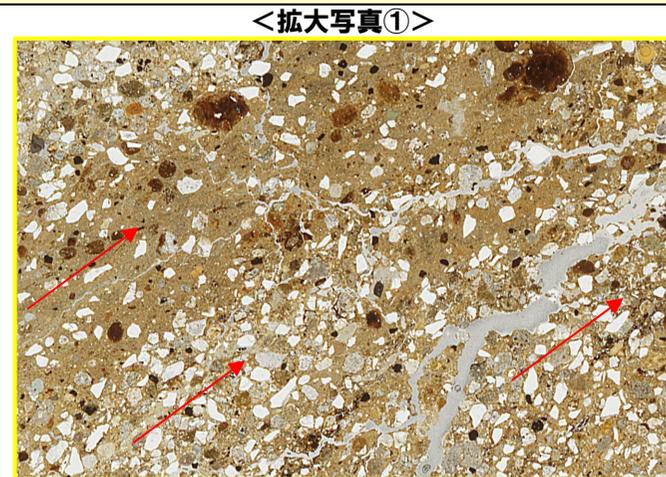


薄片試料写真(作成前)



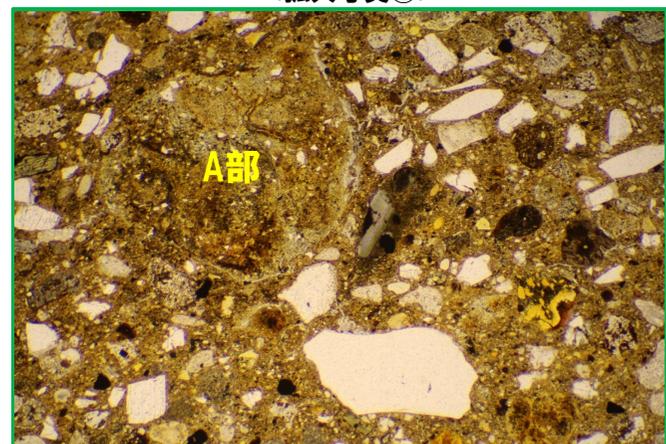
オープンニコル

10mm



オープンニコル

2mm

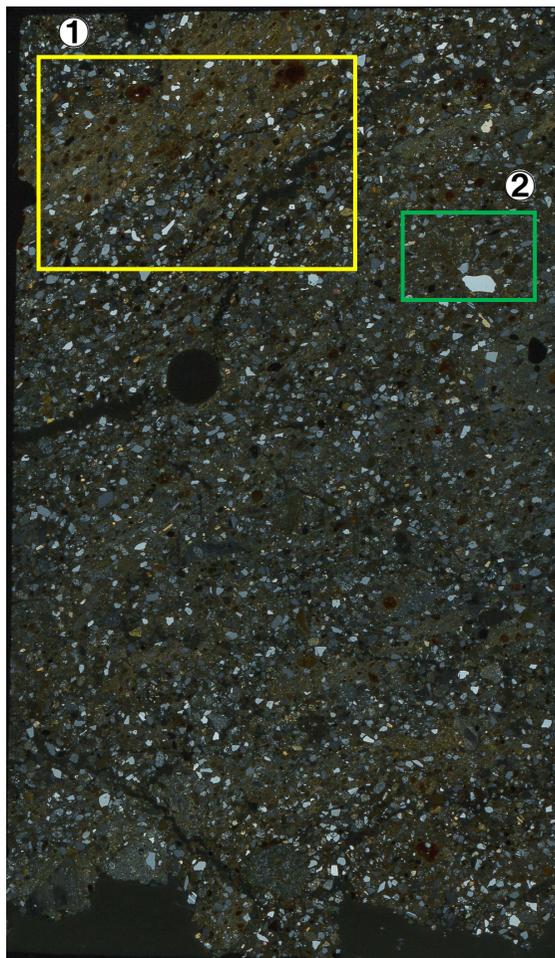


オープンニコル

1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

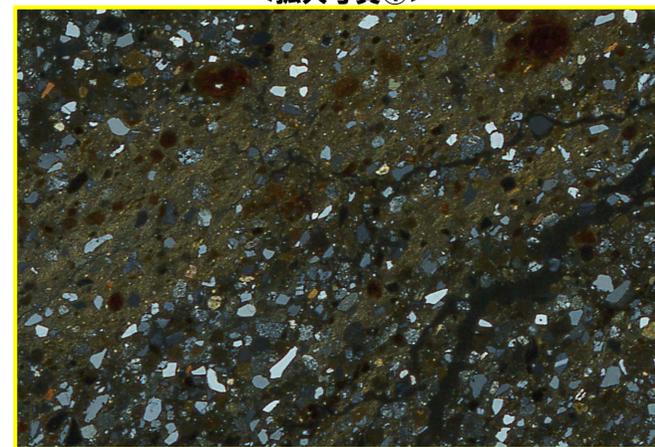
①薄片観察-SKB-TW-1-1(2/2)-



クロスニコル

10mm

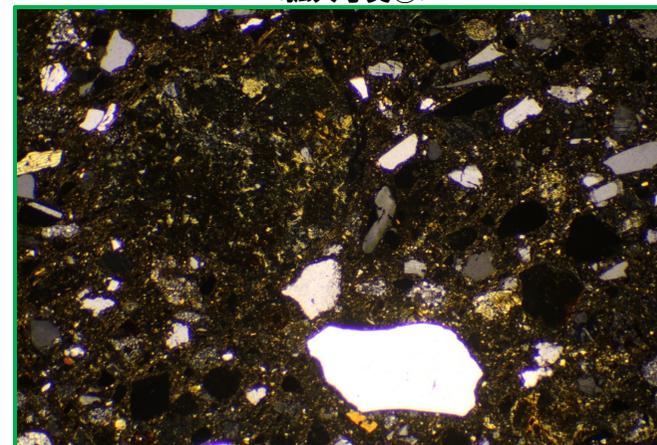
<拡大写真①>



クロスニコル

2mm

<拡大写真②>



クロスニコル

1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-1-2(1/2)-

【SKB-TW-1-2(Ts3ユニット)】

- 角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。粒子間に粘土鉱物及び泥粒径の碎屑物が認められ(拡大写真①)、局所的に濃集する(拡大写真②)。
- 旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる細礫サイズの亜角～亜円礫が認められる。



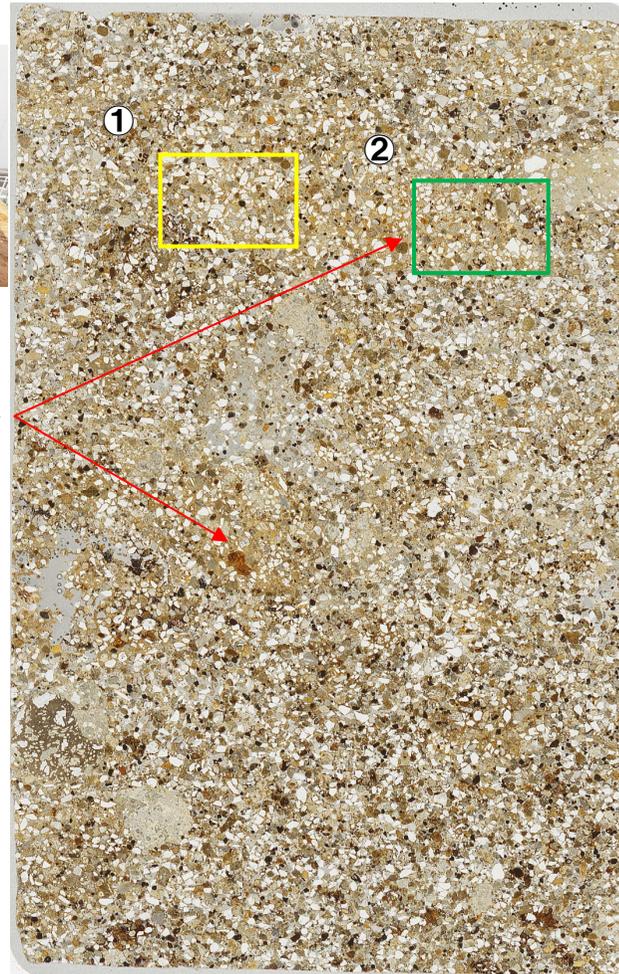
側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置

M1ユニット



5cm
薄片試料写真(作成前)

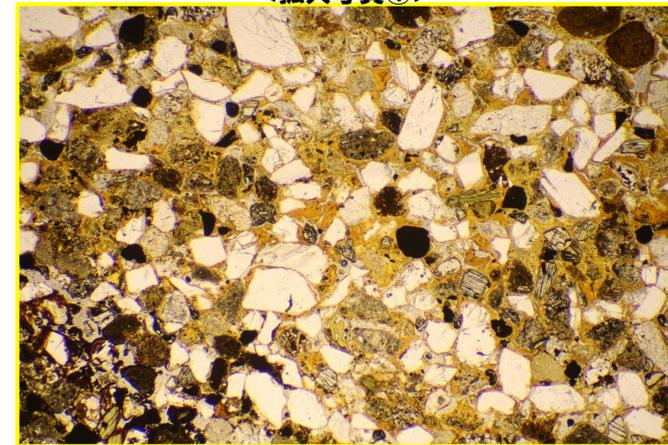
粘土
鉱物が
濃集



オープンニコル

10mm

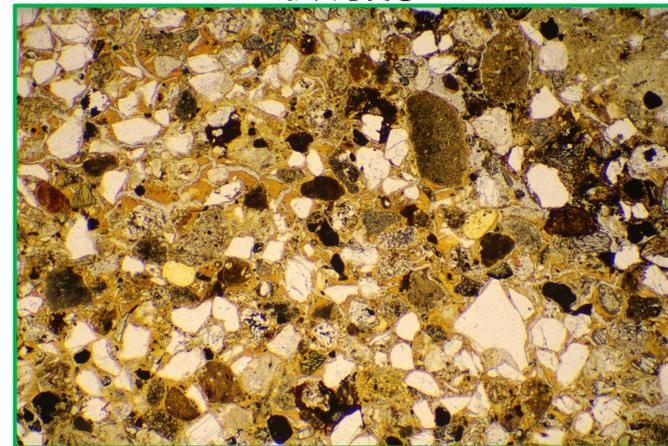
<拡大写真①>



オープンニコル

1mm

<拡大写真②>

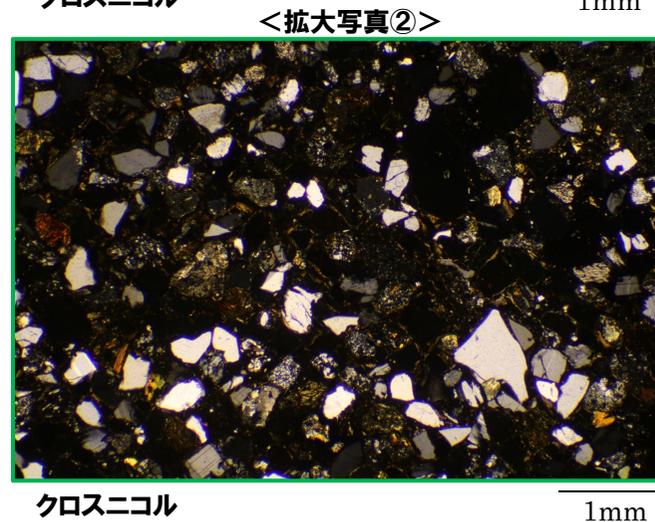
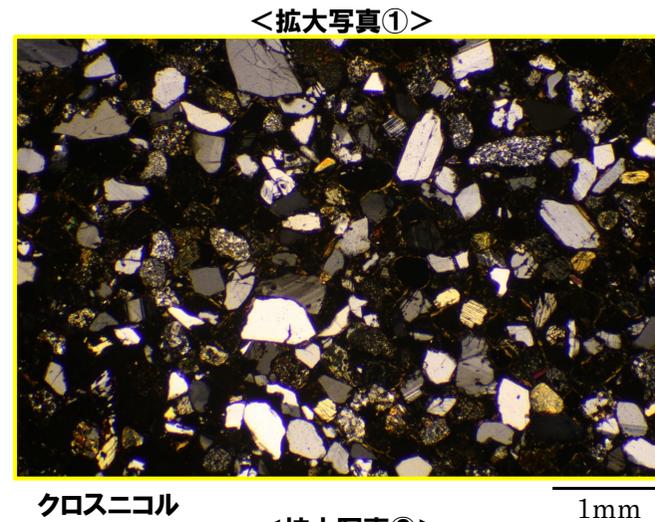
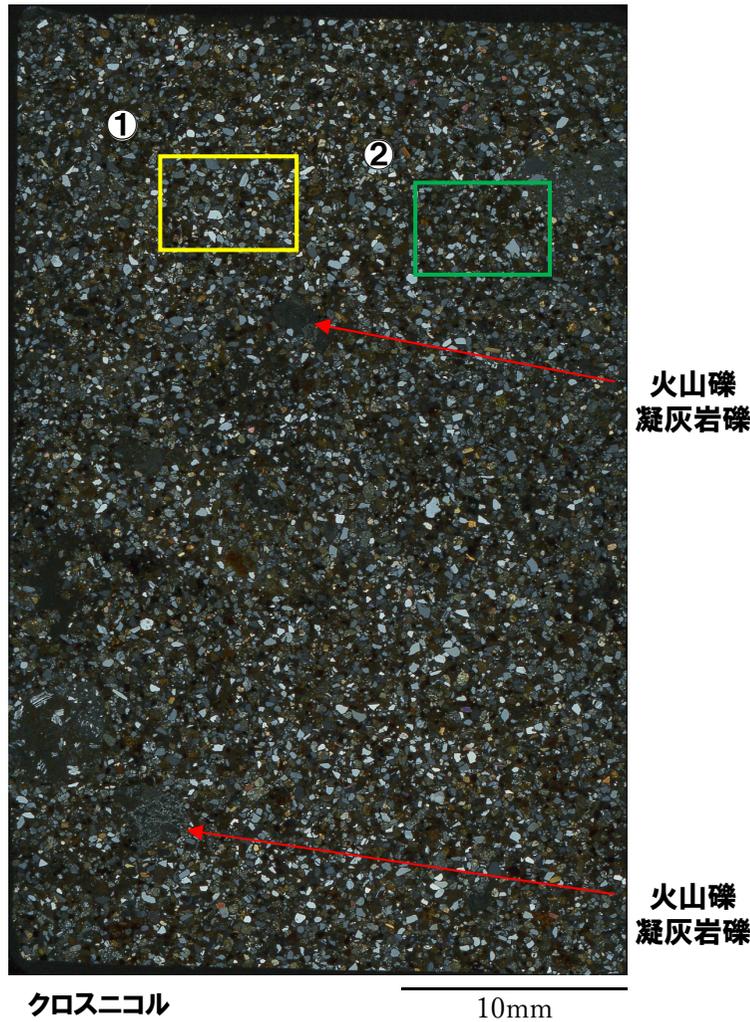


オープンニコル

1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-1-2(2/2)-

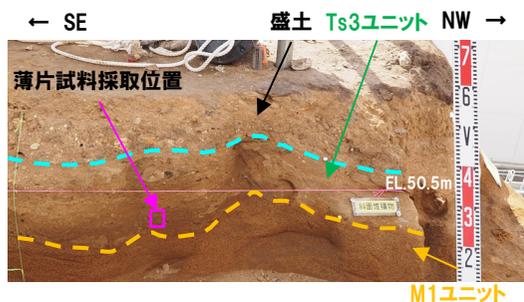


2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-1-3 (1/2) -

【SKB-TW-1-3 (Ts3ユニット及び遷移部)】

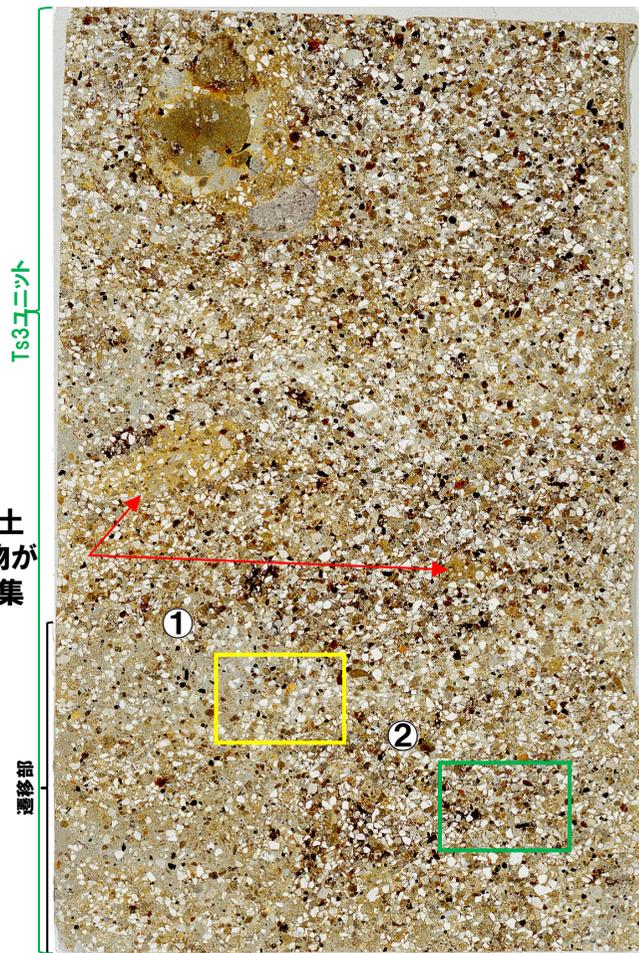
- 上部のTs3ユニットは旧海食崖を形成する基盤岩である火山礫凝灰岩由来と考えられる中礫サイズの亜円礫が認められ、粘土鉱物が局所的に濃集する箇所が認められる。また角ばった砂粒径の碎屑物を主体とし、丸みを帯びた砂粒径の碎屑物が少量混じる。
- 下部の遷移部は丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、角ばった砂粒径の碎屑物が少量混じる(拡大写真①及び②)。粒子間に少量の泥粒径の碎屑物及び粘土鉱物が認められる。



側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置

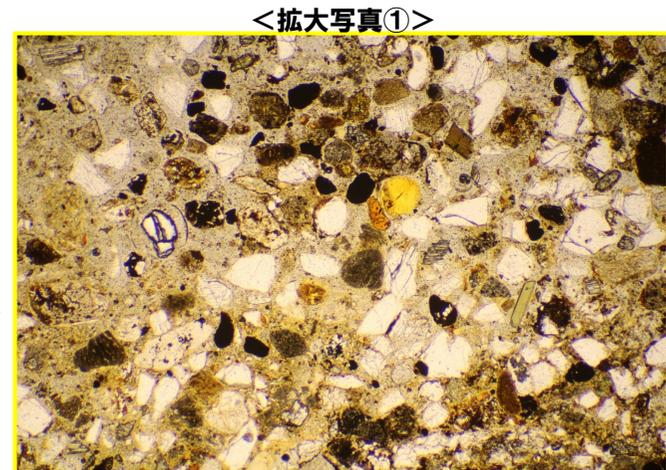


薄片試料写真(作成前)



オープンニコル

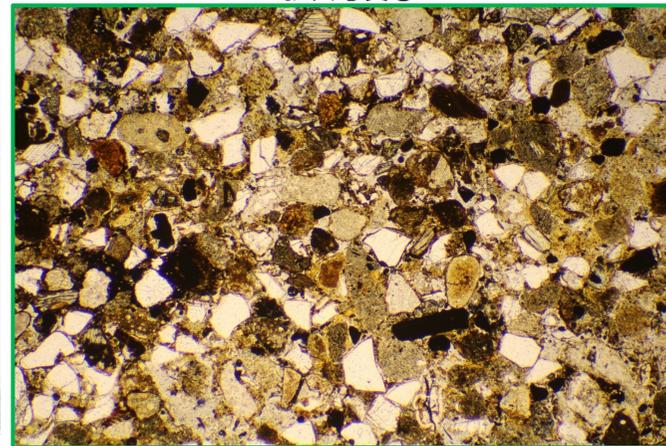
10mm



オープンニコル

<拡大写真②>

1mm

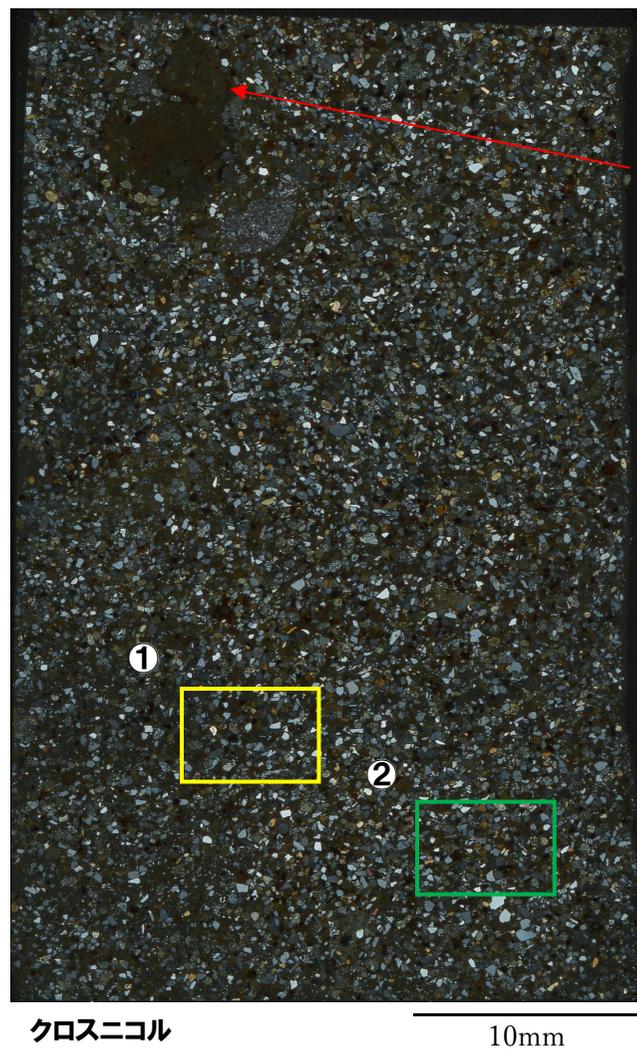


オープンニコル

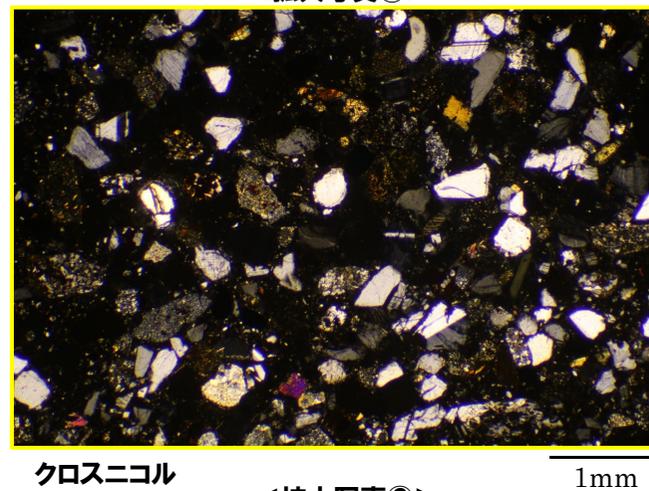
1mm

2.2.2 地層区分の妥当性

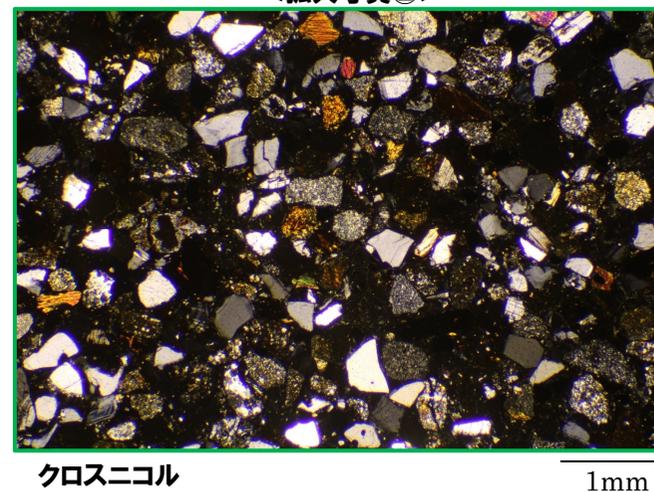
①薄片観察-SKB-TW-1-3(2/2)-



<拡大写真①>



<拡大写真②>

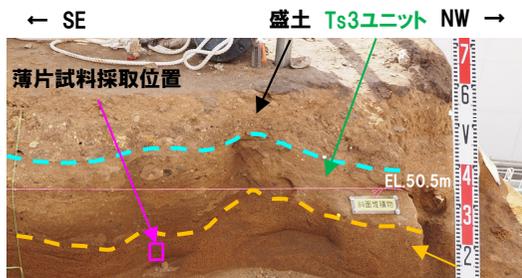


2.2.2 地層区分の妥当性

①薄片観察-SKB-TW-1-4(1/2)-

【SKB-TW-1-4(M1ユニット)】

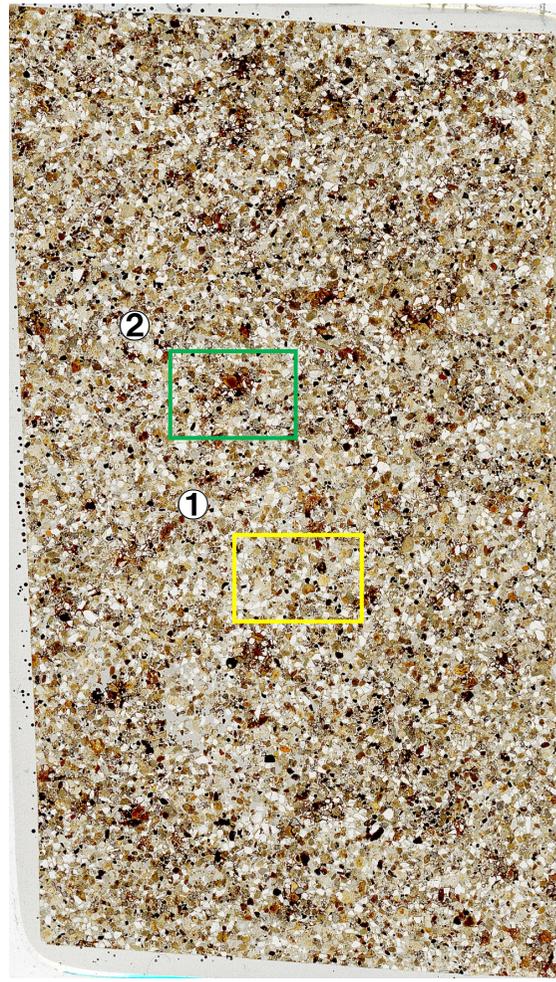
- 丸みを帯びた砂粒径の碎屑物を主体とし、粒子の縁に泥粒径の碎屑物がわずかに認められるが、粒子間は空隙となっており粘土鉱物は認められない(拡大写真①)。
- 粒子の縁及び粒子間に酸化鉄の沈着(拡大写真②)が認められる。



M1ユニット
側溝設置跡(海側壁面)
薄片試料採取位置



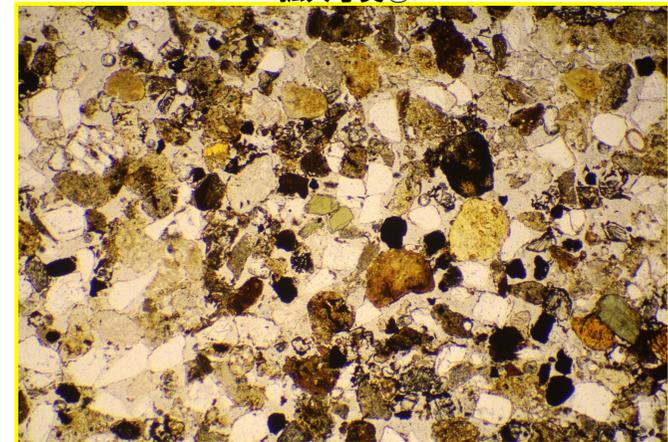
薄片試料写真(作成前)



オープンニコール

10mm

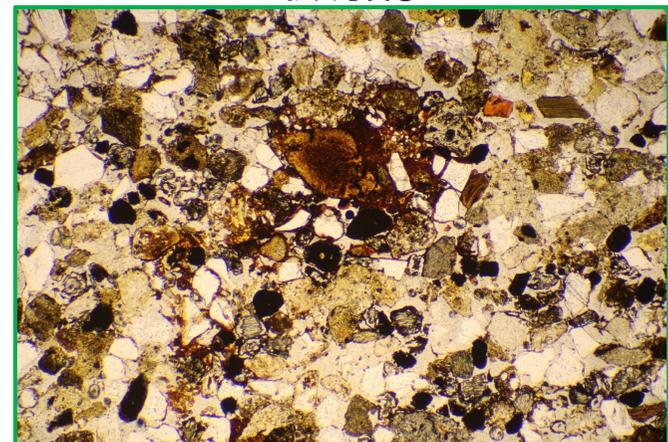
<拡大写真①>



オープンニコール

<拡大写真②>

1mm



オープンニコール

1mm